



平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年12月27日

上場会社名 株式会社 高島屋 上場取引所 東
 コード番号 8233 URL http://www.takashimaya.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木本 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 園田 早苗 TEL 03(3211)4111
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績（平成28年3月1日～平成28年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	658,790	△1.6	20,551	△3.4	23,044	△8.0	13,225	△18.6
28年2月期第3四半期	669,539	2.1	21,276	19.3	25,052	21.8	16,249	24.7

(注) 包括利益 29年2月期第3四半期 5,443百万円 (△65.7%) 28年2月期第3四半期 15,870百万円 (△33.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	37.84	33.28
28年2月期第3四半期	46.22	40.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第3四半期	1,003,405	408,369	39.8
28年2月期	974,421	407,386	40.9

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 398,923百万円 28年2月期 398,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年2月期	—	6.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年2月期の連結業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	925,000	△0.5	34,000	3.1	36,000	△4.7	20,000	△16.1	57.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社（社名）、除外 ー 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期3Q	355,518,963株	28年2月期	355,518,963株
② 期末自己株式数	29年2月期3Q	6,033,680株	28年2月期	6,028,353株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期3Q	349,487,834株	28年2月期3Q	351,520,072株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	13
(1) 個別決算の概況	13
(2) 主な子会社の概況	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2016年(平成28年)3月1日～2016年(平成28年)11月30日）におけるわが国経済は、雇用や所得環境には改善傾向が見られましたが、個人消費については力強さを欠き、小売業には厳しい事業環境となりました。

11月以降は円安や株価上昇により、企業業績と国内消費に明るい兆しが見えてきているものの、先行きは未だ不透明で予断を許さない状況にあります。

このような環境のもと、当社はグループ総合戦略である「まちづくり戦略」を推進し、業績の改善に努めてまいりました。街全体に人を集めるアンカーとしての役割を果たすとともに、中核事業である商業デベロッパー機能を担う東神開発株式会社のプロデュース力を活用し百貨店と専門店を融合することで、館の魅力の最大化に取り組んでまいりました。

しかしながら、中間層を中心とした消費の低迷や期初からの円高に伴う為替影響等もあり、連結営業収益は658,790百万円（前年同期比1.6%減）、連結営業利益は20,551百万円（前年同期比3.4%減）、連結経常利益は23,044百万円（前年同期比8.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は13,225百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

<百貨店業>

厳しい事業環境の中、新たな取り組みを進め、営業力の強化に努めてまいりました。

品揃えにおきましては、各店舗の地域特性を踏まえ、百貨店と専門店のベストミックスによる充実を目指し、本年9月には港南台店に「ニトリ高島屋港南台店」を導入いたしました。

また、百貨店ならではの品揃え強化に向けて、9月に大人の女性に向けた日常生活を自分らしくグレードアップするための編集ショップ「シーズスタイルラボ」を大型5店（大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店）及び柏店に導入し、百貨店が得意とする単品編集の買いやすさと感度の高い品揃えを実現いたしました。

加えて11月には、昨年10月の日本橋店に続き「タカシマヤウオッチメゾン」を大阪店にオープンし、近畿広域からのお客様も多くご来店されるなど、好調なスタートを切っております。

さらに、11月には新規事業となるライフスタイル提案型ビューティーブランド「dear mayuko」（セーレン株式会社との合弁会社 Dear Mayuko株式会社のブランド）を日本橋店、横浜店に、発酵デリカテッセンカフェテリア「Kouji&ko」（貝印株式会社との合弁会社 株式会社フードアンドパートナーズのブランド）を新宿店にオープンし、美容や健康へのニーズを捉えた独自の価値提供に取り組まれました。

当社が製造監修し、例年販売しているカシミヤコレクションにつきましても、婦人紳士衣料が苦戦する中で、デザインや素材、価格など商品の魅力を更に追求するとともに訴求力ある販促活動を実施したことにより、前年を上回りました。

新しいお客様づくりに向けては、株式会社NTTドコモとの提携に続き、10月には株式会社ロイヤリティマーケティングと提携し「Ponta」ポイントサービスを導入いたしました。ポイント連携のみならず各社のノウハウとアセットを活用したマーケティングに取り組み、若年層を中心とするお客様のご来店につなげております。

訪日外国人のお客様につきましても、株式会社NTTドコモと共同で訪日外国人旅行客の携帯電話やスマートフォンへクーポンを配信するなど国内での取り組みに加え、海外店舗も含めたグループ包括的な送客プロモーションを行うことで集客を伸ばし、インバウンド売上は8%増加いたしました。

しかしながら、厳しい事業環境のもと国内百貨店全体では減収減益となりました。

海外では、タカシマヤ・シンガポールLTD.が現地経済の減速に加え、円高による為替影響等により減収減益となりました。上海高島屋百貨有限公司は、お客様の定着と開店3周年祭など営業施策が好調に推移したこともあり来店客数が増加し現地通貨ベースでは増収となったものの、円高による為替影響により邦貨ベースでは減収となりました。また、タカシマヤ ベトナム LTD.は7月にホーチミン市にホーチミン高島屋を開業し、食料品や化粧品、子供・玩具商材を中心に売上を堅調に伸ばしております。

この結果、営業収益は572,210百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は6,998百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

<不動産業>

不動産業におきましては、東神開発株式会社が国内外においてグループ総合戦略「まちづくり戦略」の推進に取り組んでまいりました。国内では、二子玉川地区においてデジタルサイネージによる来街者への訴求や、周辺商業施設との連携による駐車場無料サービス等、街全体の回遊性向上による集客強化を図りました。また開発が続く新宿南口エリアにおきましても、12月のタカシマヤタイムズスクエア南館改装グランドオープンを前に、「Books Kinokuniya Tokyo」を6階にリニューアルオープンし、エリア集客を継続的に高めております。

海外ではシンガポール高島屋S.C.を運営するトーシンディベロップメントシンガポールPTE.LTD.が、改装リニューアルを中心としたテナント賃料収入の増加を図り、現地通貨ベースでは増収増益となったものの、円高による為替影響を受け、減収増益となりました。またホーチミン高島屋を核テナントとするワンストップショッピングセンター「サイゴンセンター」がオープンし、ASEANにおけるまちづくりを推進しております。

この結果、営業収益は31,133百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は7,920百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

<金融業>

金融業におきましては、高島屋クレジット株式会社が、百貨店と一体となった新規会員の獲得や、カード利用促進策を実施し、会員数及びカード取扱高の増加による収益拡大を図りました。販売管理費につきましても宣伝費などの効果的な活用に努め、増収増益となりました。

この結果、営業収益は9,962百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益3,361百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

<建装事業>

建装事業におきましては、高島屋スペースクリエイツ株式会社が、好調な建設市場環境のもと、ホテルや商業施設等の受注が堅調に推移したことに加え、名古屋駅周辺の工事受注もあり、増収増益となりました。

この結果、営業収益は21,551百万円（前年同期比23.8%増）、営業利益は1,383百万円（前年同期比71.1%増）となりました。

<その他>

その他の事業におきましては、クロスメディア事業部がカタログ発刊回数・部数の適正化を図り、営業利益の最大化を図ってまいりました。

この結果、クロスメディア事業等その他全体での営業収益は23,932百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は1,067百万円（前年同期比84.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1,003,405百万円と前連結会計年度末に比べ28,983百万円増加しました。これは、売掛金が増加したことが主な要因です。負債については、595,035百万円と前連結会計年度末に比べ28,000百万円の増加となりました。これは、買掛金が増加したことが主な要因です。純資産については、408,369百万円と利益剰余金等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ983百万円増加しました。

営業活動キャッシュ・フローは、17,518百万円の収入となり、前年同期が11,951百万円の収入であったことに比べ5,567百万円の増加となりました。

投資活動キャッシュ・フローは、997百万円の支出となり、前年同期が12,912百万円の支出であったことに比べ11,915百万円の支出の減少となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出が5,061百万円減少したことをはじめ、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が1,681百万円増加したこと、関係会社株式の売却による収入が1,609百万円増加したこと、関係会社の整理による収入が1,444百万円増加したことなどによるものです。

財務活動キャッシュ・フローは、5,457百万円の収入（前年同期は19,011百万円の支出）となり、24,469百万円の収入の増加（支出の減少）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が25,120百万円減少したことなどによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ19,632百万円増加し、93,169百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通りに推移しております。現時点におきましては、2016年(平成28年)10月7日の四半期決算発表時の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありましたタカシマヤ ベトナム LTD.、株式会社フードアンドパートナーズ、Dear Mayuko株式会社につきましては、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社でありました大葉高島屋百貨股份有限公司の全株式を譲渡したため、持分法適用の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が2016年(平成28年)3月31日に公布され、2016年(平成28年)4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等が変更されることとなりました。これに伴い、2017年(平成29年)3月1日から開始する連結会計年度において解消が見込まれる一時差異等について、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率が従来の32.3%から30.9%に変更されました。また、2019年(平成31年)3月1日から開始する連結会計年度以降において解消が見込まれる一時差異等について、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率が、32.3%から30.6%に変更されました。

この変更により、流動資産の繰延税金資産が171百万円、固定資産の繰延税金資産が326百万円、再評価に係る繰延税金負債が237百万円、退職給付に係る調整累計額が28百万円それぞれ減少し、土地再評価差額金が237百万円、その他有価証券評価差額金が303百万円それぞれ増加し、法人税等調整額が774百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年(平成28年)2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年(平成28年)11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,487	96,014
受取手形及び売掛金	119,174	144,666
有価証券	2,003	2,000
商品及び製品	41,168	48,975
仕掛品	3,947	4,426
原材料及び貯蔵品	1,036	1,056
その他	48,238	41,873
貸倒引当金	△430	△367
流動資産合計	290,625	338,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	171,610	167,907
土地	231,174	231,075
その他(純額)	14,522	15,560
有形固定資産合計	417,307	414,543
無形固定資産		
借地権	93,712	93,725
のれん	404	319
その他	14,210	13,624
無形固定資産合計	108,327	107,670
投資その他の資産		
投資有価証券	102,550	91,399
差入保証金	33,151	32,225
その他	25,040	21,553
貸倒引当金	△2,579	△2,631
投資その他の資産合計	158,161	142,546
固定資産合計	683,795	664,759
資産合計	974,421	1,003,405

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年(平成28年)2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年(平成28年)11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	103,363	117,748
短期借入金	17,187	19,547
未払法人税等	10,045	2,738
前受金	82,954	96,645
商品券	52,299	52,771
ポイント引当金	3,233	3,106
建物修繕工事引当金	581	954
その他	55,417	55,057
流動負債合計	325,082	348,569
固定負債		
社債	75,307	75,234
長期借入金	62,105	70,050
資産除去債務	1,804	1,755
退職給付に係る負債	61,875	60,505
役員退職慰労引当金	371	250
環境対策引当金	366	354
建物修繕工事引当金	5,273	4,356
その他	34,848	33,958
固定負債合計	241,951	246,465
負債合計	567,034	595,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	66,025	66,025
資本剰余金	55,085	55,085
利益剰余金	249,145	257,388
自己株式	△6,153	△6,157
株主資本合計	364,102	372,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,277	17,197
繰延ヘッジ損益	△14	7
土地再評価差額金	6,907	7,145
為替換算調整勘定	11,883	2,995
退職給付に係る調整累計額	△1,229	△765
その他の包括利益累計額合計	34,824	26,581
非支配株主持分	8,458	9,446
純資産合計	407,386	408,369
負債純資産合計	974,421	1,003,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年(平成27年) 3月1日 至 2015年(平成27年) 11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年(平成28年) 3月1日 至 2016年(平成28年) 11月30日)
営業収益	669,539	658,790
売上高	622,252	611,641
売上原価	466,731	459,666
売上総利益	155,521	151,974
その他の営業収入	47,286	47,149
営業総利益	202,807	199,124
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	18,829	18,303
ポイント引当金繰入額	2,719	2,297
貸倒引当金繰入額	139	171
役員報酬及び給料手当	48,754	48,491
退職給付費用	3,596	2,988
不動産賃借料	27,572	27,327
その他	79,917	78,993
販売費及び一般管理費合計	181,531	178,573
営業利益	21,276	20,551
営業外収益		
受取利息	409	467
受取配当金	774	805
持分法による投資利益	1,963	1,536
その他	1,380	799
営業外収益合計	4,528	3,609
営業外費用		
支払利息	605	497
為替差損	—	405
その他	147	213
営業外費用合計	752	1,116
経常利益	25,052	23,044
特別利益		
投資有価証券売却益	4,197	—
関係会社整理益	—	876
国庫補助金	—	126
その他	—	110
特別利益合計	4,197	1,113
特別損失		
固定資産除却損	2,729	2,365
関係会社株式売却損	—	892
その他	77	126
特別損失合計	2,807	3,384
税金等調整前四半期純利益	26,442	20,773
法人税、住民税及び事業税	7,962	5,714
法人税等調整額	1,642	1,288
法人税等合計	9,605	7,002
四半期純利益	16,837	13,770
非支配株主に帰属する四半期純利益	588	545
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,249	13,225

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年(平成27年) 3月1日 至 2015年(平成27年) 11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年(平成28年) 3月1日 至 2016年(平成28年) 11月30日)
四半期純利益	16,837	13,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,171	66
繰延ヘッジ損益	2	21
土地再評価差額金	452	237
為替換算調整勘定	△3,407	△6,159
退職給付に係る調整額	778	442
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,964	△2,937
その他の包括利益合計	△966	△8,327
四半期包括利益	15,870	5,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,301	4,981
非支配株主に係る四半期包括利益	568	461

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年(平成27年) 3月1日 至 2015年(平成27年) 11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年(平成28年) 3月1日 至 2016年(平成28年) 11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,442	20,773
減価償却費	14,773	14,676
のれん償却額	85	85
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△87	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,451	△639
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	43	△121
ポイント引当金の増減額(△は減少)	280	△127
建物修繕工事引当金の増減額(△は減少)	—	△543
受取利息及び受取配当金	△1,184	△1,272
支払利息	605	497
持分法による投資損益(△は益)	△1,963	△1,536
固定資産売却損益(△は益)	—	△110
固定資産除却損	1,507	1,085
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△4,197	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	892
関係会社整理益	—	△876
売上債権の増減額(△は増加)	△10,018	△19,236
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,712	△8,470
仕入債務の増減額(△は減少)	18,252	15,332
その他	△8,371	8,070
小計	25,004	28,472
利息及び配当金の受取額	2,480	2,345
利息の支払額	△510	△340
法人税等の支払額	△15,023	△12,959
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,951	17,518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,249	△2,667
定期預金の払戻による収入	—	1,387
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△4,093	△1,224
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	11,397	13,078
関係会社株式の売却による収入	—	1,609
関係会社の整理による収入	—	1,444
有形及び無形固定資産の取得による支出	△19,837	△14,776
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	236
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	741	—
その他	129	△85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,912	△997
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	60
長期借入れによる収入	21,600	15,500
長期借入金の返済による支出	△30,375	△5,255
自己株式の取得による支出	△5,587	△4
配当金の支払額	△3,869	△4,193
その他	△779	△648
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,011	5,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,584	△6,276
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△23,558	15,703
現金及び現金同等物の期首残高	86,497	73,536
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	3,929
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,939	93,169

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2015年(平成27年)3月1日 至 2015年(平成27年)11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	百貨店業	不動産業	金融業	建装事業	計				
営業収益									
(1) 外部顧客への 営業収益	586,003	31,571	9,450	17,405	644,430	25,108	669,539	—	669,539
(2) セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	4,869	3,393	3,391	3,566	15,220	21,024	36,245	△36,245	—
計	590,872	34,964	12,842	20,971	659,651	46,132	705,784	△36,245	669,539
セグメント利益	8,827	7,803	3,231	808	20,670	577	21,247	28	21,276

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額28百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2016年(平成28年)3月1日至2016年(平成28年)11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	百貨店業	不動産業	金融業	建装事業	計				
営業収益									
(1) 外部顧客への 営業収益	572,210	31,133	9,962	21,551	634,858	23,932	658,790	—	658,790
(2) セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	5,795	4,734	3,168	3,528	17,227	18,659	35,886	△35,886	—
計	578,006	35,868	13,130	25,079	652,085	42,592	694,677	△35,886	658,790
セグメント利益	6,998	7,920	3,361	1,383	19,663	1,067	20,730	△179	20,551

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△179百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

株式会社ファッションプラザ・サンローゼは、従来「百貨店業」に含めておりましたが、リーシング事業強化のため、2016年(平成28年)3月1日より、東神開発株式会社の100%子会社となりました。このため、第1四半期連結会計期間よりセグメント区分を見直し、「不動産業」に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 個別決算の概況

2017年(平成29年)2月期第3四半期の個別決算概況について

I. 実績

(単位:百万円、%)

	前第3四半期累計期間 (自 2015年(平成27年) 3月1日 至 2015年(平成27年) 11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2016年(平成28年) 3月1日 至 2016年(平成28年) 11月30日)	増減額	増減率
営業収益	511,855	504,554	△7,300	△1.4
売上高	504,340	496,221	△8,118	△1.6
売上総利益率	24.68	24.51	△0.17	—
販売費及び一般管理費	125,938	124,305	△1,633	△1.3
営業利益	6,033	5,657	△375	△6.2
経常利益	9,221	8,965	△256	△2.8
四半期純利益	6,939	5,216	△1,722	△24.8

II. 店別売上高

(単位:百万円、%)

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減額	増減率	
	金額	構成比	金額	構成比			
大 阪 店	92,089	18.3	92,641	18.6	551	0.6	
堺 店	9,966	2.0	9,313	1.9	△653	△6.6	
京 都 店	61,893	12.3	60,903	12.3	△989	△1.6	
泉 北 店	13,292	2.6	12,834	2.6	△457	△3.4	
日 本 橋 店	98,300	19.5	96,315	19.4	△1,984	△2.0	
横 浜 店	95,925	19.0	93,295	18.8	△2,629	△2.7	
港 南 台 店	7,118	1.4	6,495	1.3	△622	△8.7	
新 宿 店	50,608	10.0	50,626	10.2	17	0.0	
玉 川 店	30,506	6.0	30,695	6.2	188	0.6	
立 川 店	11,342	2.3	10,411	2.1	△930	△8.2	
大 宮 店	7,663	1.5	7,375	1.5	△287	△3.8	
柏 店	25,634	5.1	25,313	5.1	△320	△1.3	
(株)高島屋計	504,340	100.0	496,221	100.0	△8,118	△1.6	
国内 子会 社	(株)岡山高島屋	13,459		13,200		△258	△1.9
	(株)岐阜高島屋	11,057		10,770		△286	△2.6
	(株)米子高島屋	4,338		3,949		△389	△9.0
	(株)高崎高島屋	10,859		10,797		△62	△0.6
国内子会社を含む総計	544,054		534,939		△9,114	△1.7	

(注) 1. 京都店には洛西店を含めております。

2. 法人事業部及びクロスメディア事業部の売上高は、それぞれ所在する地区の各店に含めております。

III. 販売費及び一般管理費

(単位：百万円、%)

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減額	増減率
人件費	42,566	41,723	△843	△2.0
宣伝費	20,006	19,027	△978	△4.9
総務費及び庶務費	45,085	43,898	△1,186	△2.6
経理費	18,281	19,656	1,374	7.5
計	125,938	124,305	△1,633	△1.3

IV. 営業外損益

(単位：百万円、%)

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減額	増減率
営業外収益	4,722	4,817	95	2.0
受取利息・配当金	4,010	4,018	8	0.2
雑収入	712	799	87	12.3
営業外費用	1,534	1,510	△24	△1.6
支払利息	1,323	1,230	△92	△7.0
雑損失	211	279	67	32.2

V. 特別利益・特別損失

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
特別利益	投資有価証券売却益	4,197	投資有価証券売却益	—
	関係会社整理益	—	関係会社整理益	876
	その他	—	その他	37
計		4,197		914
特別損失	固定資産除却損	1,186	固定資産除却損	972
	資産除却の原状回復費	977	資産除却の原状回復費	1,077
	関係会社株式売却損	—	関係会社株式売却損	959
	その他	36	その他	37
計		2,200		3,048

(2) 主な子会社の概況

2017年(平成29年)2月期第3四半期の主な連結子会社の決算概況について

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2015年(平成27年) 3月1日 至 2015年(平成27年) 11月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2016年(平成28年) 3月1日 至 2016年(平成28年) 11月30日)	
	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益
タカシマヤ・シンガポール LTD.	41,332	2,730	36,215	2,012
上海高島屋百貨有限公司	5,330	△948	4,684	△754
東神開発(株)	25,976	6,044	27,526	6,144
トーシンディベロップメント シンガポールPTE. LTD.	7,111	1,880	6,643	1,893
高島屋クレジット(株)	12,850	3,203	13,137	3,340
高島屋スペースクリエイツ(株)	20,372	792	24,706	1,386

(注) 1. タカシマヤ・シンガポールLTD.、上海高島屋百貨有限公司、トーシンディベロップメントシンガポールPTE. LTD. の第3四半期累計期間は1月1日～9月30日となっております。